

資料

山口県小瀬川第二期工業用水道事業の紹介

○ 事業の主旨

柳井地域は徳山、下松地域と同様に周南地区工業整備特別地域に指定され、県東部の工業地帯の一角を形成してきたが、半島部や島部が多く、急峻な山に囲まれ、平地が少なく大きな河川もないことから、水資源に恵まれず都市用水の絶対量の不足により、慢性的な水不足に悩まされてきた。

当事業は、このような柳井地域の緊迫した水需要に対処する目的で実施されたものである。

○ 事業の経緯

小瀬川第二期工業用水道事業は、山口県と広島県の県境を流れる小瀬川に、旧建設省が平成3年3月に築造した弥栄ダムにより開発された利水容量のうち、32,500,000m³を山口、広島両県の都市用水として利用し、山口県分の90,500m³/日（工水40,500m³/日・上水50,000m³/日）を水源としてこの柳井地域に工業用水の給水をしようとするもので、平成3年12月に旧通商産業省の承認を得て平成3年度から事業に着手し、平成11年度に完成している。なお、導水施設工事のうち、選択取水設備と圧力トンネルは、水源費補助事業により弥栄ダムの建設に合わせて施工し、昭和63年度に完成している。

この事業完成に伴い平成12年4月1日より3,000m³/日の一部給水を開始している。

なお、事業化している給水能力としては5,600m³/日であり、残りの32,000m³/日については未事業化のままとなっている。

また、この事業のうち弥栄ダムから柳井市の上水道浄水場までの取水・導水施設については柳井地域の一市四町（柳井市、周防大島町、上関町、田布施町、平生町）によって昭和57年12月設立された柳井地域広域水道企業団と共同施工している。

○ ユーザーの概要

（平成19年4月1日現在）

業種	給水件数	契約水量 (m ³ /日)
化学	1	1,000
電力	1	2,000
合計	2	3,000

○ 工業用水道施設の概要

弥栄ダムから選択取水設備で取水し圧力トンネルにより導水し減勢後、第一調整池までを約20kmのトンネルと約2kmの管路により自然流下で導水し、第二調整池までの約3kmをポンプ圧送した後、柳井市までの約15kmを管路により自然流下で配水するものである。（また、弥栄ダムから日積浄水場（上水）までの間は柳井地域広域水道企業団との共同施工である。）

○ 事業の特徴

- ・弥栄ダムから取水した水を柳井地域に管路延長約40kmの長い距離を送水している。

○ 工業用水道概要図

小瀬川第二期工業用水道概要図（前ページ）

○ 山口県企業局ホームページアドレス

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a40100/index/>

